

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

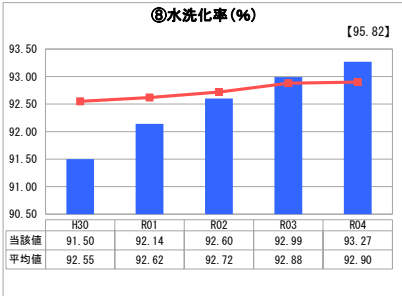
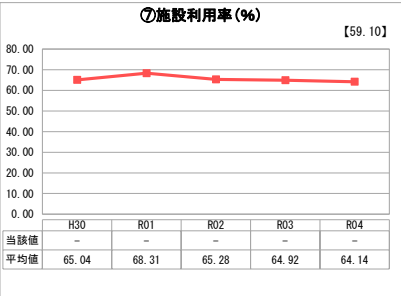
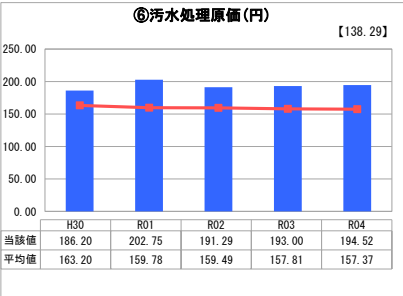
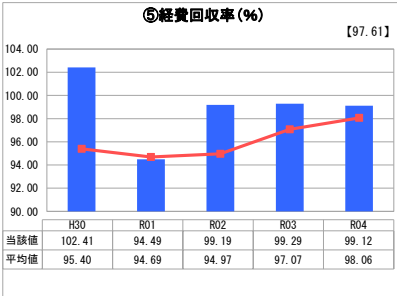
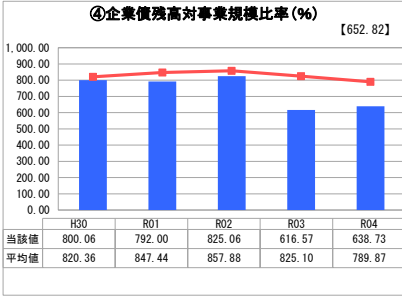
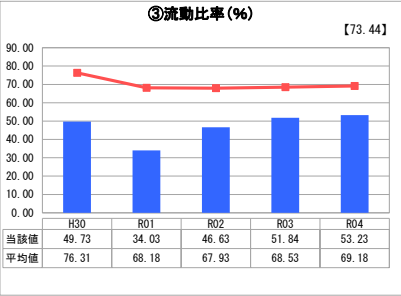
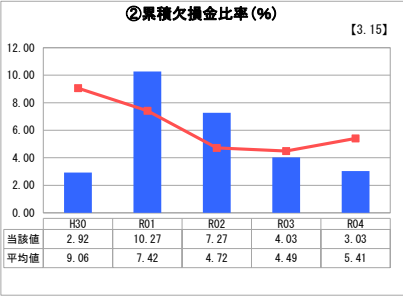
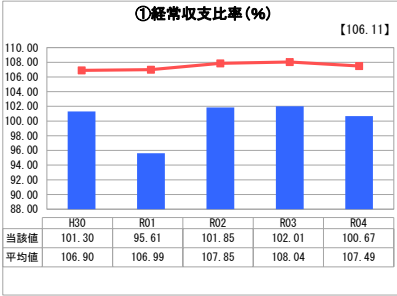
岩手県 北上市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	49.87	70.05	76.39	3,414

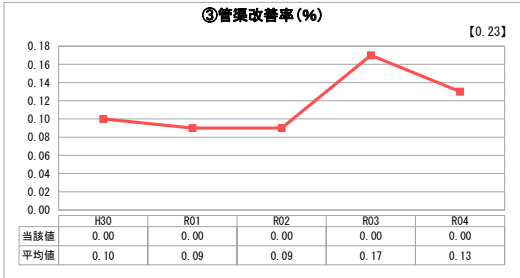
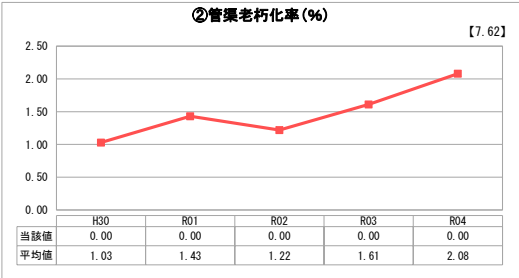
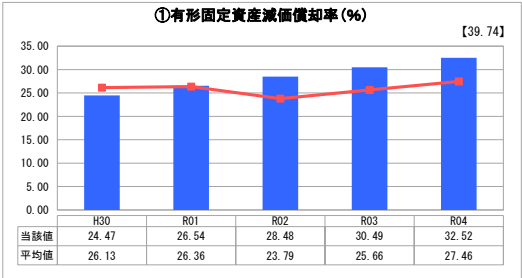
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
92,056	437.55	210.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
64,390	24.30	2,649.79

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①令和4年度も比率は100%を上回りました。一般会計からの繰入金はほぼ基準内繰入であるものの、依存することなく今後もより一層の経営改善に努めていく必要があります。

②累積欠損金比率は令和元年度に増加しましたが、令和2年度以降徐々に改善しています。

③企業債償還の財源として一般会計からの基準内繰入を予定しており、流動資産は適正な規模であると考えています。今後も資金需要を鑑みながら適切に流動資産の管理を行っていきます。

④普及拡大事業が概成し、大規模投資が減少していることから指標は改善しています。今後は設備の更新などを予定しており、引き続き計画的な投資に努めます。

⑤令和4年度も概ね汚水処理費を使用料で賄えている状況となっています。経費回収率は使用料水準を計る上で重要な指標であり、今後も注視しながら経営を行っていきます。

⑥汚水処理原価は類似団体と比べ高い状況ですが、総費用は県内類似団体と同程度であり、費用の多くを一般会計からの繰入金に依存せず使用料で賄っています。

⑧水洗化率は年々着実に上昇しており、令和3年度以降は類似団体の平均を上回っています。引き続き普及活動に力を入れていきます。

### 2. 老朽化の状況について

①類似団体を上回る状況であることから、ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した管渠や設備については適切に更新を行っていきます。

②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、管渠の経過年数等を把握し、適切な点検・修繕等を含めた維持管理を行っていく必要があります。

③法定耐用年数を超えた管渠がないことから、更新等は行っていますが、今後は管渠の経過年数等を考慮し、計画的に更新を行っていく必要があります。

## 全体総括

処理戸数は増加しているものの節水傾向にあり、前年度まで続いていた使用料収入の増加は頭打ちとなることが見込まれます。今後も費用の削減により引き続き累積欠損金の解消に努める必要があります。令和4年度も経常収支比率は100%以上となったことからこれを維持するとともに、経費回収率についても100%程度を維持できるよう、経営戦略による長期的な財政・投資計画の進捗管理を行っていきます。

管渠や設備等の膨大な資産について、ストックマネジメント計画に基づき、国庫補助等を有効に活用しながら計画的に更新を行い、費用の抑制と平準化を目指していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。